

2020 年度

自己評価報告書

学校法人 晃陽学園

つくば栄養医療調理製菓専門学校

1 教育理念・目的・人材育成像

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	A	入学前のオープンキャンパス、説明会において教育方針を説明しており、入学時のガイダンスやオリエンテーションにおいても再度伝えている。それぞれの専門職業人としてふさわしい人間性・社会性・専門性を身につく指導を心掛けている	
② 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生、関係業界、保護者等に周知がなされているか	A	就職先、校外研修先等にパンフレットなどを送付、またオープンキャンパスや入試説明会等においても説明をしている。	尚一層の周知に努めていく。
③ 学校における職業教育その他の教育指導の特色は明確か	A		
④ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A	現場実習や自治体との連携、また就職先等外部からの意見を取り入れるとともに、内部の状況も整理し、ニーズに合った人材育成ができるよう、教育課程に反映させていく。	外部からの意見を取り入れるとともに、内部の意見も整理して教育課程に反映させて行く。
⑤ 各学科の教育目標、人材育成像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	A		

2 学校運営

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	教育理念に基づき運営している。 職員会議等で方針を明確にしている。	
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	学校法人として、理事会・評議員会において明確な事業計画を策定し承認を得て遂行している。 各学科代表者会議で年間計画をたて全て確認しながら遂行している。	
③ 運営組織や意思決定機能は明確化されていて、有効に機能しているか	A	校務分掌で役割担当を明確にし各学科代表者会議にて承認、実行している。	
④ 人事・給与に関する規定等は整備されているか	A	就業規則により整備されている。	
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	A	決済方法を明確にし、それに則って決定している。	
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	B	職員会議等において周知し、職員の意識向上に努める。	文書化、職員研修等、共通の内容として整備に努める。
⑦ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	ホームページ、フェイスブックに加え、Instagram等のSNSにおいて授業内容を公開している。	今後も公開内容、および公開方法の充実に努めていく。
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	A	導入している学生管理システムを効果的に使用し、業務の効率化を図っている。	さらに効果的に活用していく。

3 教育活動

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	養成施設の設置基準を満たす教育課程を基本とし、本校の教育目標に沿った科目配置について年1回見直しをしている。 科目ごとの進行については、担当講師が年間授業予定表を作成し、それに沿った授業を行っている。	教科間の連携を進め、学生にとって効果的な学習となるよう工夫していく。
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	各分野において、教育課程に沿った内容を検討・指導し、専門分野のニーズを踏まえた人材育成を心がけている。	社会環境の変化にも柔軟に対応できるよう努める。
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A		
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	教育課程編成委員会を設置することにより、関連分野の企業及び有識者から意見を取り入れカリキュラム作成に活用している。就職指導、校外研修等でいただいた意見も積極的に取り入れていく。	今後は組織的に意見を取り入れていく体制を整える。
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A		
⑥ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	B	2020年度においては新型コロナウイルスの感染症関連により、校外研修が未実施の学科もあったが、引き続き社会的状況の変化の対応についても情報を得ながらご意見を伺っていきたい。	

⑦ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A	各学科カリキュラムに組み込み体系的に実施している。	
⑧ 授業評価の実施・評価体制があるか	A	各期に授業アンケートを実施し、その評価をもとに授業の改善を図っている	
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	単位取得、進級判定の基準に沿って進級・卒業判定会議において審議している。単位未修得になり得る可能性のある学生には、本人への指導・面談及び保護者への状況連絡も行っている。	
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A	各分野の資格取得に向けて、対策授業等の体制を整え、指導に取り組んでいる。	
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	それぞれの専門分野の職員を配置している。実習及び学科を指導する職員も外部講師も含め有資格で経験豊富な方を配置している。	
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保に努めているか	A	各業界と連携し専門性の高い講師を派遣してもらう体制が整っている。	
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	A	自己啓発を促し学会、外部講習会を含め、時間の許す限り参加を推奨している。また、職員研修を実施し職員の視野を広げ、学生指導に還元できるよう努めている。	職員に必要な研修内容の実施に努める。
⑭ オンライン授業など社会環境の変化に対応した多様な教育形態が実施されているか	B	社会環境の変化に伴いオンラインに加え、課題郵送・添削など状況に合わせて授業を行った。いろいろな環境の中でも本校の学びを深める授業ができるよう、インターネットを使用した授業形態の職員研修を行った。	今後、インターネットを使用した教育形態についても知識を深めていく。

4 学生指導（私立専門学校等評価研究機構に記載有）

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 基本的な生活習慣の確立のための取組みが行われているか	A	日頃から積極的に指導徹底している。心配のある学生には、改善につながるよう一時的でなく継続的に指導している。	
② 学生・保護者からの相談体制が整備されているか	A	日々、学生の状況を把握し、こまめに声掛けする等相談しやすい環境を整えている。問題があれば保護者にも連絡できる体制を整備している。	
③ 通学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	A	近隣の駐車場の確保や学生会館を設置し、遠方からの学生の通学に便宜を図っている。 学生に求人を公開し個別に就職指導をしている。	
④ 学生の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある学生等への支援など）が行われているか	B	各分野に合わせた保険に加入する等、取組みを行っている。	障害や心理面に問題のある学生に柔軟に対応できるよう教員の知識、指導の向上に努める。

5 学修成果

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 就職率の向上が図られているか	A	入学前のオープンキャンパス等より、進路選択について説明し仕事に対する理解を深め、本人の意思を尊重する職種につけるよう面談をくり返し行い、就職率の向上を図っている。また、実社会において必要なマナーなどの研修を取り入れている。教員の指導力向上のためセミナーなどを実施している。	学生に対し、現状に合ったビジネスマナー等を学べる機会を取り入れていく。
② 資格取得率の向上が図られているか	A	各国家資格取得に向けて、日々の授業を中心に行っている。また、対策授業も継続的に行い、模試などを取り入れ学びを深め効果をあげている。	
③ 退学率の低減が図られているか	B	入学前にもできる限り学校の様子や職業について開示し、入学後のギャップが生じないように入試面談においてもしっかり話しを聞くようにしている。また、遅刻、欠席の多い学生には都度担任より声掛けをし、状況把握に努め、必要に応じて個別面談、保護者面談を実施し退学率低減を心掛けている。	今後も入学前より学校見学等を充実させ、将来に向けての目的意識を高く持てるように努める
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	A	卒業後に相談に来る学生も多く、現状も聞くことができる。その際、在校生に仕事のやりがいなどを話す場を設けるなどしている。また、いろいろな情報を就職指導担当職員間で共有し、社会で活躍できるよう指導に努めている。	
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A		

6 学生支援

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	入学時から就職を視野に入れ、職種を含めた説明も行っている。卒業年度には新学期から個々に面談を行い、就職活動を行えるように体制を作っている。校内で企業説明会を実施したり、オンラインでの説明会の際には場所を提供するなど、学生に情報が届くよう努めている。	履歴書作成のセミナーなど就職に必要な知識習得の機会を設け就職活動の強化を図っていく。
② 学生相談に関する体制は整備されているか	A	相談しやすい環境づくりに努めている。	
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	A	独自の奨学金制度はないが、オープンキャンパス等で公的な奨学金制度を紹介している。また、学費納入の相談は随時受付が出来る体制をとっており、各家庭の経済状況に合わせて期間を延長しての納入や分割納入を相談・届出のうえで許可している。	
④ 学生の生活環境への支援は行われているか	A	就職活動と同様、アルバイトも学校を通じて紹介している。 入学説明会時にアパート、駐車場情報なども学生に伝えている。学生会館を設置している。 昼食は給食により適切な食生活を提供している。	社会的環境の変化に応じ、災害時も含め防災に対する周知にも努める。

⑤ 学生の健康管理を担う組織体制があるか	A	年度初めに健康診断を行っている。再検査や要診断と判断された学生には受診をすすめている。 分野ごとに予防接種や、細菌検査を実施している。	
⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	コンテストや検定試験には積極的に参加できるよう指導と支援を行っている。	学生の成長につながるよう支援体制を充実させる。
⑦ 卒業生への支援体制があるか	A	再就職を希望する卒業生には紹介も含め就職や国家試験対策等、相談にのり今後の活躍につながるよう支援している。	卒業生からの意見も聞きながら、支援体制を整え、より一層フォローに努める
⑧ 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	B	個別の対応については強化しているが、今後は組織的なプログラムを計画していく。	国家資格の取得など、卒業生のスキルアップにつながるよう努める。
⑨ 保護者と適切に連携しているか	A	教育活動や学校生活の状況を伝える際にもご理解をいただいていると感じる。体調不良など心配な点があった場合にも連絡をするように努めている。	
⑩ 社会人入学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	B	社会人入学生を積極的に受け入れている。入学前は個別に入学相談ができる場を設けるなど、ニーズの把握に努めているため入学後の退学者も少ない。	今後も社会人入学生のニーズの把握に努める。
⑪ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	A	高校からの依頼を受け講師派遣やインターンシップなど積極的に受け入れている。	

7 教育環境

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A	施設・設備は設置基準に準じている。 教育上必要な配慮をしている。	必要に応じて順次更新していく。
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	A	校内外の実習施設において引き続き管理を適切にし、体制を整えていく。	
③ 防災に対する体制は整備されているか	A	防災マニュアルを作成した。周辺地域の防災マップ等を取り入れ、学生、職員の周知に努めている。	状況の変化に応じて学生への周知徹底、教職員の意識向上に努める。
④ 感染症など健康危機管理は実施されているか	A	危機管理委員会を設置し、組織的に行っている。感染症拡大防止のため、学生職員とも毎日検温のうえ体調管理に注意し、登校時に健康状態の確認と声掛けをしながら手指消毒を実施している。教室ならびに校内施設について消毒を含めた衛生管理の徹底を図っている。また校内にも感染予防に関するポスターの掲示や消毒用備品等を置き健康危機管理に努めている。	

8 学生の受入れ募集

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	A	各高等学校で行われる進路ガイダンスへの参加、広報職員の高校訪問を通して、学校説明や在籍している学生の状況を報告。学校の情報を正確に提供するように努めている。	
② 学生募集活動は適正に行われているか	B	学生募集活動においては、正確に学校や学科の特徴、取得資格、就職状況を説明し、ミスマッチなく進路として選択をしてもらえるよう努めている。また、学校ホームページおよびパンフレットにも最新の実績を掲載し、誇張すること無く募集活動を行うよう配慮をしている。	引き続き、少子化に向けて、社会人や外国人受け入れに対してもさらに配慮していく。
③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられているか	A	学生募集活動においては、正確に学校や学科の特徴、取得資格、就職状況を説明し、ミスマッチなく進路として選択をしてもらえるよう努めている。また、学校ホームページおよびパンフレットにも最新の実績を掲載し、誇張すること無く募集活動を行うよう配慮をしている。	
④ 学生納付金は妥当なものとなっているか	A	学生納付金は学則に則り募集要項に記載・徴収している。教材費や行事費等の実費についても、オープンキャンパス等で納入期日やおおよその金額を公表し、徴収時には明細を添付している。	
⑤ ソーシャルネットワークサービス（SNS）など学生のアクセスしやすい通信手段が整備されているか	A	情報発信の一つとして整備が必要であった SNS を年度はじめに整え運営することができた。今年度より、Instagram、LINE、YouTube を実施している。	コロナ禍においても SNS の活用は有効的であったため、今後も発信方法の工夫をしながら継続していきたい。

9 財務

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	A	予算に基づく適切な収支バランスを保持している。今後の18歳人口の減少などに対応する入学者確保に努めていく。	
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	新年度が始まる前に予算・収支計画を作成し、理事会・評議員会で承認を得ている。	
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	A		
④ 財務情報公開の体制準備はできているか	A		

10 法令等の遵守

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	法令を遵守し運営にあたっている。	
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B	パソコンの個人情報はセキュリティーのかかったサーバーで保管、管理している。書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。	今後も個人情報に関する危機管理の見直しを行っていく。
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B	校内に自己評価実施委員会を設け評価と問題点の改善を図っている。また、学校関係者評価委員会を開催し外部委員からの意見を自己評価および学校運営、教育に反映させている。	さらなる充実を図っていく。
④ 自己評価結果を公開しているか	A	公開している	

11 社会貢献・地域貢献

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	地域社会と連携をとりながら社会貢献・地域貢献に積極的に取り組んでいる。	
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B	例年のボランティア活動に備え体制を整えていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催されたイベントが少なく、全体的な支援は難しい状況であった。	継続的に地域貢献ができるような体制を整えることに努める。
③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	感染症拡大防止対策を行い、地域住民に対する公開講座や委託授業を行うことができた。	環境の変化に応じて地域に対する公開講座等が行えるよう、引き続き体制づくりに努める。

2020 年度

学校関係者評価報告書

学校法人 晃陽学園

つくば栄養医療調理製菓専門学校

学校法人 晃陽学園 つくば栄養医療調理製菓専門学校は、自己評価報告書に基づき、以下の通り学校関係者評価委員会を実施致しました。

1. 開催概要

(1) 第1回学校関係者評価委員会

日 程 2020年8月27日(木) 10:00~12:00

場 所 つくば栄養医療調理製菓専門学校 新館 4F 研究室

(2) 第2回学校関係者評価委員会(書面会議)

新型コロナウイルス感染防止のため書面でご意見をいただいた。

日 程 2021年1月25日(月)

2. 出席者

(1) 第1回学校関係者評価委員会

氏名(所属)	選任理由
海老原 幸二(稲敷広域消防本部)	企業・関係団体
村山 正利(公益社団法人 茨城県獣医師会)	企業・関係団体
湯原 幸子(学校法人 霞ヶ浦学園 つくば国際大学高等学校)	中学・高等学校関係者
根本 雅文(株式会社 天使のおやつ)	企業等委員
箱崎 せつ子	在校生保護者
石川 幸子	在校生保護者
森 恵子(社会福祉法人 東雲会 小貝保育園)	卒業生

(2) 第2回学校関係者評価委員会（書面会議）

氏名（所属）	選任理由
海老原 幸二（稲敷広域消防本部）	企業・関係団体
村山 正利（公益社団法人 茨城県獣医師会）	企業・関係団体
湯原 幸子（学校法人 霞ヶ浦学園 つくば国際大学高等学校）	中学・高等学校関係者
根本 雅文（株式会社 天使のおやつ）	企業等委員
箱崎 せつ子	在校生保護者
石川 幸子	在校生保護者
大貫 瞬太（大洗町消防本部）	卒業生
森 恵子（社会福祉法人 東雲会 小貝保育園）	卒業生
黒田 真由子（ホテル日航つくば）	卒業生

3. 本校職員

氏名（役職）	氏名（役職）
今井 恭子（校長）	赤星 康彦（副校長）
川島 邦子（副校長）	斎藤 達也（専門調理師・調理師学科長）
山中 由紀子（栄養士学科学科長）	山本 勝也（事務長）
江口 千佳（総務課長）	伊藤 順子（教務事務員）

4. 学校関係者評価委員からの意見、提言等

自己評価項目	意見、提言等
1 教育理念・目的・人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する。
2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する。
3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のほとんどがリモート学習に切り替わっている。専門学校でもリモート学習を実施できるよう環境を整え、教員への教育も必要になってくるのではないか。 ・学校の良さを発信することが学校の発展、生徒、卒業生のためになる。
4 学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、礼儀だけではなく、個々の総合力を育ててほしい。授業の中でも工夫して取り入れていただきたい。 ・発達障害、様々な障害を抱えている学生に対し高校ではスクールカウンセラーのもと指導等しているが、スクールカウンセラーは配置しているのか。 (⇒カウンセラーは現在配置していないが、近隣の心療内科との連携を検討している。) ・就職先で求められていること、必要なスキル等、新しい情報を収集し授業の中に組み込んでほしい。 ・学科、学年の垣根を超えた課外活動、サークルのようなものはできないか。 (⇒校内でも議論しているところではあるが、カリキュラムを消化することでめいっぱいという状況。学園祭やスポーツ大会等では交流を持つことができるのではないか。)
5 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する。

6 学生支援	・意見、提言は特になく、適正と判断する。
7 教育環境	・意見、提言は特になく、適正と判断する。
8 学生の受け入れ募集	・本校の環境はとても良いので、取組みや素晴らしいところをアピールすべきではないか。 ・生徒は Instagram、YouTube に興味を持っているので SNS 活用は今後も工夫して継続したほうが良い。
9 財務	・意見、提言は特になく、適正と判断する。
10 法令等の遵守	・意見、提言は特になく、適正と判断する。

以上、頂いたご意見をもとに、内容の改善、より一層の教育を行い、今後の学校運営に努めてまいります。